

あれから10年 デジタルリマスターされた極上の音と映像があの熱狂を進化させる!

2014年、全世界の観客が魂を殴られた衝撃作『セッション』。新時代の天才ここにありと、その名を世に轟かせた監督は、当時28歳のデイミアン・チャゼル。膨大な数の受賞リストの筆頭には、アカデミー賞[®]作品賞を含む5部門ノミネート、3部門受賞の刻印が燦然と輝く。日本でも破格の絶替を浴びながらも、作品の解釈を巡る危険な論争も注目され、社会現象を巻き起こし大ヒットを記録した。

あれから10年、平成から令和となり、パンデミックを経て、社会もエンターテインメントも、人の気持ちも大きく変わった。そんな刷新された時代の映画館に、4K&Dolby Atmosのデジタルリマスターによって進化を遂げた傑作が帰ってくる。若きドラマーと鬼教師の狂気の対決は、今を生きる私たちに何を突き刺すのか?新たに研ぎ澄まされた映像と大迫力の音響で、映画史に刻まれた〈ラスト9分19秒〉を体感せよ!



